

専 門 教 養
令 和 6 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
特別支援学校中・高 <b>保健体育</b>

## 注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、12ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の**選択問題を表す欄のマークは不要**です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題 1**、**特別支援教育の専門に関する問題 I** の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

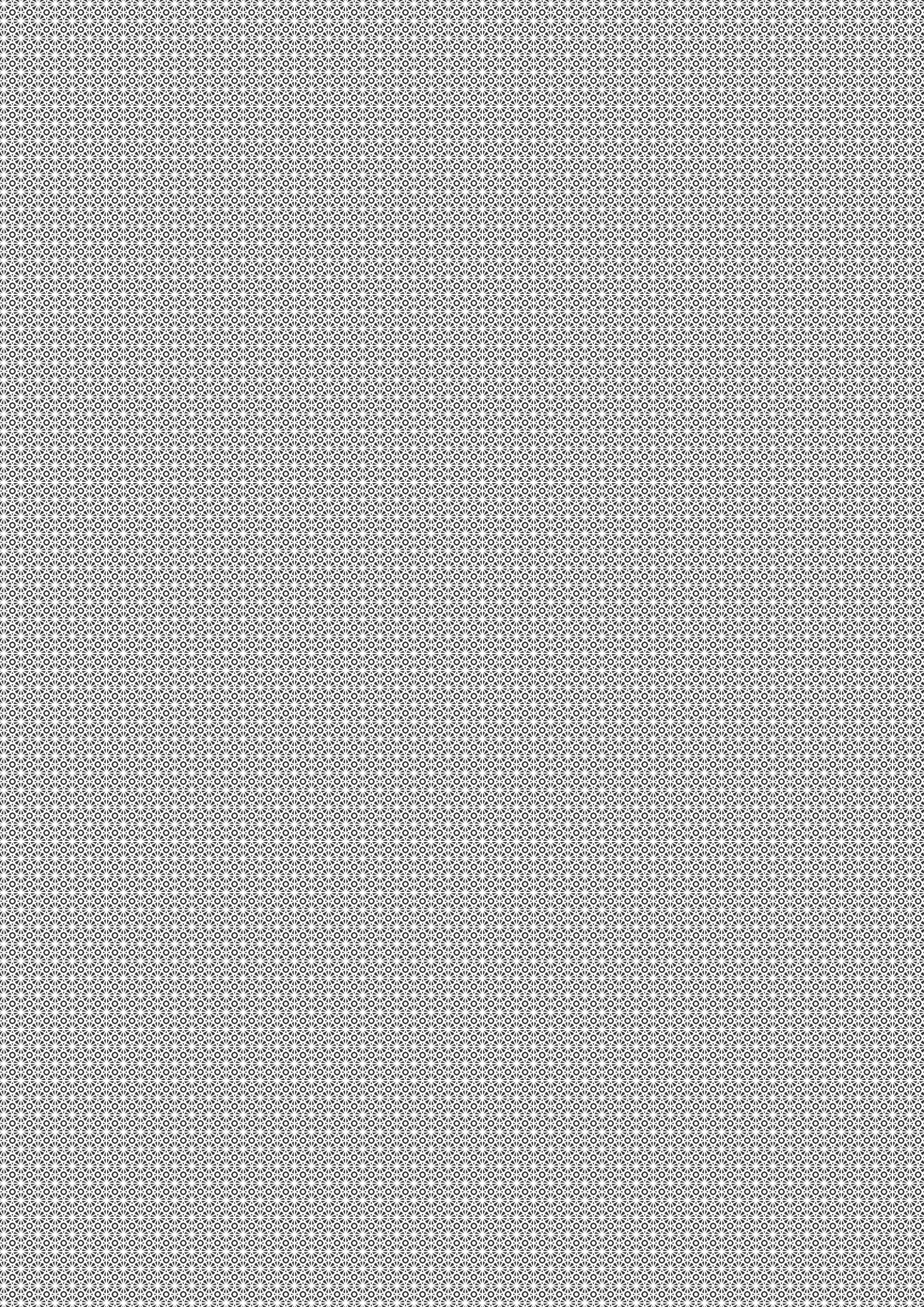
## 解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答番号	解答欄
<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

**解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。**



## 教科等に関する問題

1 次の各問に答えよ。

[問 1] 「スポーツ基本計画」(文部科学省 令和4年3月)に示された、今後の施策目標に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 体育・保健体育の授業等を通じて、運動好きな子供や日常から運動に親しむ子供を増加させ、生涯にわたって運動やスポーツを継続し、心身共に健康で幸福な生活を営むことができる資質や能力の育成を図る。その結果として、1週間の総運動時間(体育授業を除く。)が60分未満の児童の割合を15%(令和3年度)から半減、生徒の割合を20%(令和3年度)から半減を目指す。
- 2 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週1回以上実施し、1年以上継続している運動習慣者の割合の増加を目指す。
- 3 全国各地域が「スポーツによる地方創生、まちづくり」に取り組み、それらを将来にわたって継続させ、各地に定着させるよう、促進する。その結果として、スポーツ・健康まちづくりに取り組む地方公共団体の割合を2026年度末に15.6%(令和3年度)から40%とする。
- 4 障害者スポーツの体験等による一般社会に対する障害者スポーツの理解啓発に取り組むことにより、人々の意識が変わり、共生社会が実現されることを目指す。このため、学校体育等以外について、障害者スポーツを体験したことのある者の割合を50%程度とすることを目指す。

[問 2] 次の記述は、「オリンピック憲章 [2023年10月15日から有効] (国際オリンピック委員会)」(公益財団法人 日本オリンピック委員会 2023年12月発行) に示された「オリンピズムの根本原則」に関するものである。記述中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は **2**。

1 オリンピズムは肉体と **ア** と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学である。オリンピズムはスポーツを文化、**イ** と融合させ、生き方の創造を探求するものである。その生き方は努力する喜び、良い模範であることの教育的価値と社会的な責任、さらに国際的に認知されている人権、およびオリンピック・ムーブメントの権限の範囲内における普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基盤とする。

- |   |          |    |          |    |
|---|----------|----|----------|----|
| 1 | <b>ア</b> | 意志 | <b>イ</b> | 教育 |
| 2 | <b>ア</b> | 技術 | <b>イ</b> | 教育 |
| 3 | <b>ア</b> | 意志 | <b>イ</b> | 社会 |
| 4 | <b>ア</b> | 技術 | <b>イ</b> | 社会 |

[問 3] 「熱中症対策ガイドライン」(東京都教育委員会 令和4年7月) に示された、熱中症の病型に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **3**。

- 1 熱失神については、「大量に汗をかき、水だけ(あるいは塩分の少ない水)を補給して血液中の塩分濃度が低下したときに起こるもので、痛みをともなう筋けいれん(こむら返りのような状態)がみられる。」とされている。
- 2 熱疲労については、「炎天下にじっと立っていたり、立ち上がったとき、運動後などに起こる。皮膚血管の拡張と下肢への血液貯留のために血圧が低下、脳血流が減少して起こるもので、めまいや失神(一過性の意識消失)などの症状がみられる。」とされている。
- 3 熱射病については、「過度に体温が上昇(40℃以上)して脳機能に異常をきたした状態である。体温調節も働かなくなる。種々の程度の意識障害がみられ、応答が鈍い、言動がおかしいといった状態から進行すると昏睡状態になる。」とされている。
- 4 熱けいれんについては、「発汗による脱水と皮膚血管の拡張による循環不全の状態であり、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などの症状がみられる。」とされている。

[問 4] 陸上競技の規則に関する記述として、「陸上競技ルールブック2024年度版」(公益財団法人日本陸上競技連盟 2024年4月)に照らして適切なものは、次の1~4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 三段跳は、ホップ、ステップおよびジャンプの順で成立っている。競技者はホップで踏切った同じ足で最初に着地し、ステップでは反対の足で着地し、つづいてジャンプを行う。試技中に「振り出し足」が地面に触れたら、無効試技となる。
- 2 ハードル競走では、手や体、振り上げ脚の前側で、いずれかのハードルを倒したり、移動させたりした時は、失格とならない。
- 3 400mを超えるレースでは、全てのスタートはクラウチング・スタートで行われなければならない。
- 4 高さを競う全ての競技では、計測は1cm刻みで、地面から垂直にバーの上部の一番低いところで計測する。

[問 5] 水泳に関する記述として、「学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引(三訂版)」(文部科学省 平成26年3月)に照らして適切なものは、次の1~4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 クロールでは、左右の脚の幅は、親指が触れ合う程度にし、踵を30cm以上離すよう指導する。
- 2 平泳ぎでは、両手のひらを上向きにそろえ、腕の前、あごの下から水面と平行に前方へ出すよう指導する。
- 3 背泳ぎでは、腕は、手のひらが水面近くを太ももに触れる程度までかき進め、最後は手のひらを下にして腰の下に押し込むようにするよう指導する。
- 4 バタフライでは、手の甲を斜め外向き45°程度にして頭の前、肩幅に手先を入水するよう指導する。

[問 6] ダンスに関する記述として、「学校体育実技指導資料 第9集 表現運動系及びダンス指導の手引」(文部科学省 平成25年3月)に照らして適切なものは、次の1～4のうち  
のどれか。解答番号は 。

- 1 ダンスの語源の一つに「生活の質：quality of life」という意味がある。
- 2 「フォークダンス」は、世界各国・各地域で自然発生し、伝承されてきた地域固有のダンスであり、決まった様式や動きには国や地域の風土や文化が反映されている。
- 3 「リズム系ダンス」は、1920年代に確立された「モダンダンス」に由来し、一人一人の個性に応じて創造的なダンスで表したいイメージや思いを自由な動きで踊る。
- 4 「表現系ダンス」は、1950年代に現れたロックや近年のストリートダンスを背景とするヒップホップなど、ビートが主体のリズムに乗って全身で踊るダンスの総称であり、人々を踊りに誘う「律動の快感」がある。

[問 7] 体育理論における運動やスポーツの学習に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号は 。

- 1 相手やまわりの状況に応じて最適な技術を選択したり、技術と技術を組み合わせたりすることを戦略という。
- 2 武道や球技のように、たえず変化する状況の中で用いられる技能をクローズドスキルという。
- 3 陸上競技や水泳のように、比較的安定した環境の中で用いられる技能をオープンスキルという。
- 4 運動をおこなったとき、運動した結果の情報が直接的、間接的に運動した人に戻されることをフィードバックという。

[問 8] ユニバーサルデザインに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号は 。

- 1 年齢や障害などの特性にかかわらず、誰もが普通に暮らせるようにする理念のこと。
- 2 施設において、入居者が居宅に近い居住環境のもとで、日常生活を送れるように、10人くらいの少人数をひとつのユニットとして介護を行うこと。
- 3 障害の有無や年齢、能力、体格に関係なく、誰もが利用できる生活用品や建築に関するデザインや設計のこと。
- 4 高齢者や障害のある人が社会参加をしようとすることを妨げる障壁をなくす取組のこと。

[問 9] 世界での保健活動に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号は 。

- 1 UNICEFは、世界保健機関のことであり、感染症の対策、災害医療、衛生統計の作成など、広い分野にわたって活動を行っている。
- 2 WHOは、国際連合児童基金のことであり、開発途上国や内戦で被害を受けている子どもの栄養改善や病気を予防するための活動を行っている。
- 3 日本赤十字社は、政府機関であり、赤十字に関する諸条約及び赤十字国際会議において決議された諸原則の精神にのっとり、赤十字の理想とする人道的任務を達成することを目的としている。
- 4 国境なき医師団は、非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体である。危機に瀕した人々への緊急医療援助を主な目的とし、1971年にフランスで設立された。

[問10] がんに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 

10
----

。

- 1 がんの発生は、遺伝的要素によるもののみであり、喫煙や飲酒などの生活習慣によるものはない。
- 2 がんの治療法には、手術療法、放射線療法、化学療法があり、これらを組み合わせて行うことはできない。
- 3 がん検診は、我が国では、肺がん検診を、50歳以上を対象として、2年に1回の間隔での受診を推奨している。
- 4 我が国では、がん対策基本法に基づく「がん対策推進基本計画」によって、社会的対策が総合的かつ計画的に進められている。



## 特別支援教育の専門に関する問題

I 次の各問に答えよ。

[問 1] 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領総則の「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 児童又は生徒の障害の状態により特に必要がある場合には、各教科及び外国語活動の目標及び内容に関する事項の全部を取り扱わないことができる。
- 2 児童又は生徒の障害の状態により特に必要がある場合には、各教科の各学年の目標及び内容の一部又は全部を、当該各学年より前の各学年の目標及び内容の一部又は全部によって、替えることができない。
- 3 児童又は生徒の障害の状態により特に必要がある場合には、視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部の外国語科については、外国語活動の目標及び内容の一部を取り入れることができる。
- 4 児童又は生徒の障害の状態により特に必要がある場合には、中学部の各教科、道徳科及び特別活動の目標及び内容に関する事項の一部又は全部を、当該各教科に相当する小学部の各教科、道徳科及び特別活動の目標及び内容に関する事項の一部又は全部によって、替えることができる。

[問 2] 特別支援教育の歴史に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 1947年に、学校教育法が公布され、翌年より盲学校、聾学校及び養護学校の就学が義務化された。
- 2 1878年に、京都に京都盲啞院が設立された。
- 3 1979年に、学校教育法が改正され、特殊教育から特別支援教育へと転換し、盲学校、聾学校及び養護学校が特別支援学校へと制度が変わった。
- 4 1971年に創設された「自立活動」は、1999年に名称、目標及び内容が見直され「養護・訓練」に改められた。

[問 3] 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（中央教育審議会 令和3年1月）に示された「新時代の特別支援教育の在り方について」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 少子化により学齢期の児童生徒の数が減少する中、特別支援教育に関する理解や認識の高まり、障害のある子供の就学先決定の仕組みに関する制度の改正等により、通常の学級に在籍しながら通級による指導を受ける児童生徒が大きく減少しているなど、特別支援教育をめぐる状況が変化している。
- 2 障害のある子供の就学前の学びや支援は、特別支援学校幼稚部、幼稚園・保育所・認定こども園のほか、児童発達支援センター・児童発達支援事業所・民間の療育センターなど多様な場で行われており、特別支援教育を推進するための人的体制等は十分な状況である。
- 3 特別支援学校に在籍する児童生徒が居住する地域の学校に副次的な籍を置く取組については、居住する地域との結び付きを強めたり、居住する地域の学校との交流及び共同学習を継続的に推進したりする上でも有意義であり、その一層の普及を推進することが重要である。
- 4 高等学校において、発達障害等のある生徒の中には、本人や保護者が障害の可能性に気が付いていない場合はないので、気になる生徒の実態把握を行い、本人等の意向も踏まえつつ、卒業後を見据えた適切な指導や必要な支援を実施していくための支援体制の構築も重要である。

[問 4] 次の表は、学校教育法施行令第22条の3に示されたもののうち、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者の障害の程度についてまとめたものである。表中の **ア～エ**のうち、**適切でないものは**、下の**1～4**のうちのどれか。解答番号は **14**。

表

	区分	障害の程度
<b>ア</b>	視覚障害者	両眼の視力がおおむね〇・三未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
<b>イ</b>	聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね三〇デシベル以上のもものうち、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
<b>ウ</b>	知的障害者	一 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、社会生活への適応が著しく困難なもの
<b>エ</b>	肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの

- 1 ア
- 2 イ
- 3 ウ
- 4 エ

[問 5] ヒトの視機能に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 色覚とは、光の波長の違いを色として区別する感覚である。ヒトの網膜には、赤、黄、青の光を感じる3種類の錐体細胞が存在し、これらの機能不全が色覚異常の原因となる。
- 2 視力とは、2点を識別する眼の能力のことである。視力には、遠見視力と近見視力があり、遠見視力は30cmの距離で測定し、近見視力は3m前後の距離で測定する。
- 3 視野とは、正面を見ている場合に、同時に上下左右などの各方向が見える範囲である。この範囲が周囲の方から狭くなって中心付近だけが残ったものを求心性視野狭窄という。
- 4 光覚とは、光を感じる感覚のことである。明順応は、うす暗い光の中でも次第に目が慣れる現象である。明順応障害では、暗いところではほとんど見えず、夜道などを歩くのに困難を感じる。

[問 6] 難聴に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 伝音難聴とは、難聴の原因が内耳や脳にある場合をいう。
- 2 感音難聴とは、難聴の原因が外耳や中耳にある場合をいう。
- 3 難聴の聴力レベルは、軽度難聴、中等度難聴、高度難聴、重度難聴の四つの重症度に分類され、そのうち両耳の聴力レベルが高度難聴以上の場合は全ろうと判断される。
- 4 先天性難聴は、生まれたときから聴覚に障害が生じている状態であり、早期診断の方法として、耳音響放射や聴性脳幹反応がある。

[問 7] 検査に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 WISC-Vは、5歳未満の子供を対象としたもので、知能全体を示す指標である全検査IQのほか、言語理解、知覚推理、ワーキングメモリー、処理速度の能力を示す指標を検査する。
- 2 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法は、心身の発達状態を「姿勢・運動」、「認知・適応」、「言語・社会」の3つの領域で評価するもので、0歳から成人までを対象年齢としている。
- 3 新版K式発達検査2020は、発達遅滞・障害を発見し、その程度を評価する検査の一種で、0歳～4歳8か月の発達を「運動」、「社会性」、「言語」の3つの分野で把握するものである。
- 4 田中ビネー知能検査Vは、適用年齢は2歳0か月～成人であり、2歳～13歳の被検者では知能指数と精神年齢を算出し、14歳以上の被検者では偏差知能指数を算出する。

[問 8] 脳性まひの筋緊張に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

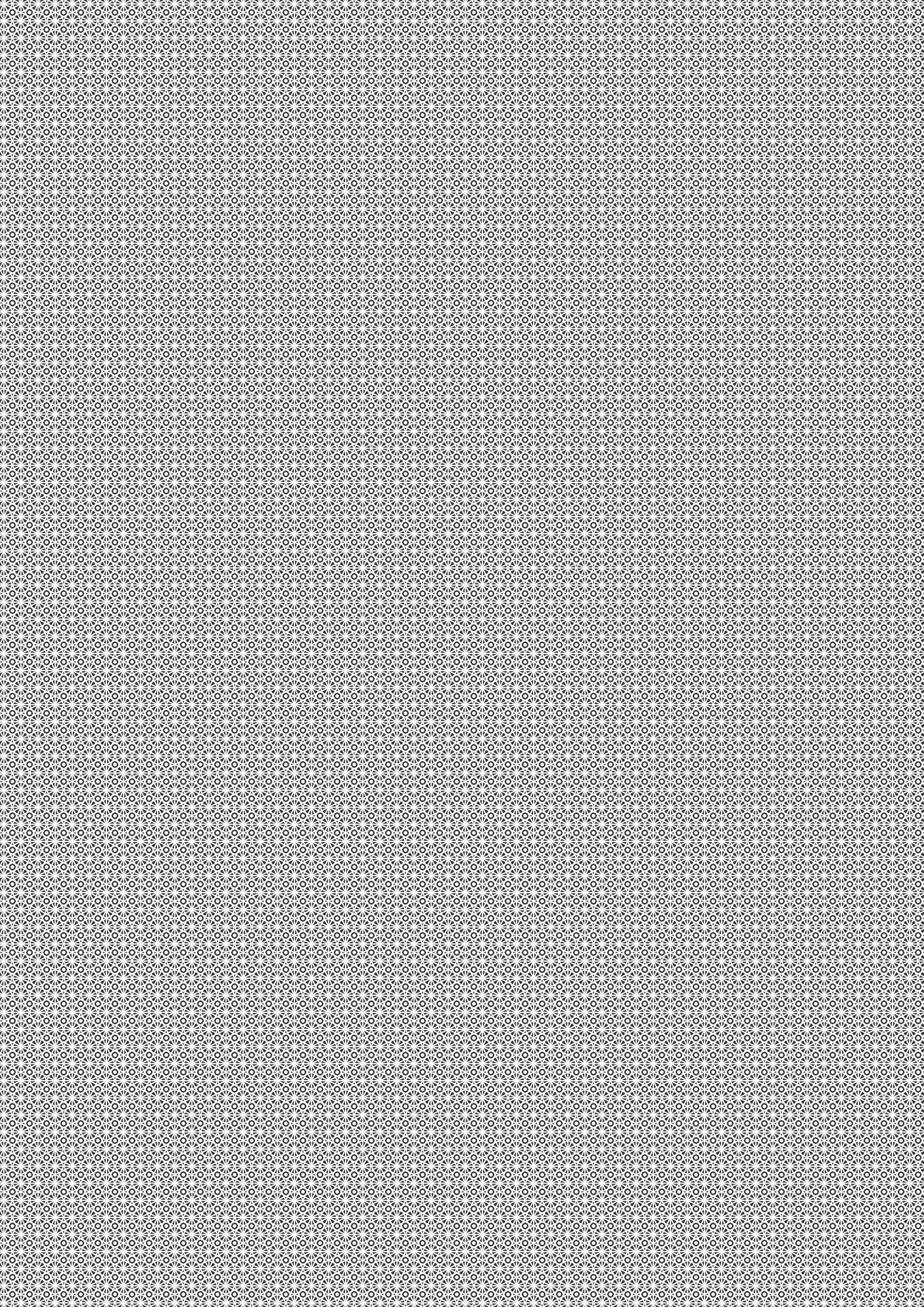
- 1 アテトーゼ型は、非常に筋緊張が高いため、筋肉がこわばり硬くなる。このため、全身の動作がぎこちなく、拘縮や変形、股関節脱臼が起こりやすくなる。
- 2 失調型は、身体の随意運動に伴って不随意運動が起こる。筋緊張が不安定なため、姿勢の安定や左右対称の姿勢を取りづらくなる。
- 3 固縮型は、上肢や下肢を屈伸する場合に、鉛の管を屈伸するような抵抗感があるものである。
- 4 瘻直型は、バランスをとるための平衡機能の障害と運動の微細なコントロールのための調節機能の障害を特徴とする。

[問 9] 先天性心疾患に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 心室中隔欠損症は、左心室と右心室を分ける心室中隔に欠損孔が存在し、この欠損孔を介して左心室から右心室への血液の短絡が起こる。大きな欠損孔では、心不全の症状が出現する。
- 2 三尖弁閉鎖症は、心室中隔欠損、肺動脈狭窄、大動脈の心室中隔への騎乗、右室肥大の4つの特徴をもつ疾患である。右心室の静脈血の一部が左心室に流入するため、大動脈から全身に送られる血液の酸素濃度が低下し、チアノーゼを起こす。
- 3 ファロー四徴症は、左心室から肺動脈が出て、右心室から大動脈が出る。
- 4 完全大血管転位症は、右心房と右心室の間にある弁が閉鎖している心疾患である。心房中隔欠損症を合併することが多い。

[問10] 自閉症の特徴に関する記述として**適切でないもの**は、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 他人と相互的なコミュニケーションを取ることが苦手である。
- 2 言葉の発達の遅れについては、言語の理解や使用に発達の遅れは全く見られない。
- 3 興味や関心が狭く特定のものにこだわる。
- 4 自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる。



3 問題文中の  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などの  $\square$  には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1)  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$  に -84 と解答する場合には、次の（例2）のようにマークします。

解答番号	解答欄
(例2) $\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に  $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$  のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$  に  $-\frac{4}{5}$  と解答する場合には、 $-\frac{4}{5}$  として、次の（例3）のように

マークします。

解答番号	解答欄
(例3) $\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていないければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$  に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。